

親子ふれあいミュージカル 「いのちてんでんこ」

主催：碧南ライオンズクラブ 後援：碧南市、碧南市教育委員会

日時：令和4年12月10日(土)

第1部 10:00～11:30(開場 9:30)

新川小、中央小、日進小、鷺塚小、西端小

(第2部 13:30～15:00 大浜小、棚尾小、中学生)

会場：碧南市文化会館ホール

入場：入場整理券が必要です(入場無料 全席自由席)

対象：小学校5・6年生と保護者、中学校1・2年生と保護者

1～4年生の参加も可です。

児童生徒のみでの参加も可です。

交通：自転車は文化会館駐輪場、お車は文化会館駐車場へ停めてください。

問合せ：各学校 教頭までお願いします(日進小 山岸 41-0995)。

※中学生のお子様といっしょに第2部(午後)に参加されたい場合等、ご相談ください。

「被災地から未来へ いのちの伝言」

おら、生きる、ここで生きる
音楽、ダンス、パフォーマンス
圧巻のパフォーミングアーツでお届けする
喪失と再生の新しい神話 再び、人は祭りでつながった



.....<きりとりせん>.....

親子ミュージカル「いのちてんでんこ」入場整理券希望

日進小学校

年 組 氏名

保護者氏名

入場整理券を希望される方は、11月30日(水)までに、担任(→教頭)にご提出ください。

ミュージカル「いのちてんでんこ」

被災地から未来へ、いのちの伝言（被災者の証言を元に制作されたミュージカル）

三陸地方に伝わる「いのちてんでんこ」（別称 津波てんでんこ）とは、地震がきたら津波が来る、てんでばらばらに他人にかまわず一人で逃げろ、という3.11以降日本中の人々が知ることとなった言葉です。

防災科学技術研究所の要請で被災地に赴いた演出家 前川十之朗が、九死に一生を得た人たちの証言をもとにした作品「いのちてんでんこ」。

震災を扱う作品、はともすれば暗くなりがちですが、

本作品の印象は台風一過の青空のようにくっきりと明るいもので、

しかし作品を通して伝えられる「いのちてんでんこ」という警告は

深くメッセージとして刻まれていきます。東北発の感動作！ミュージカル「いのちてんでんこ」。

ストーリー、音楽、ダンス、共に優れた鑑賞会作品として、ご提案致します。

あらすじ ～津波が奪い去った町。残された、傷だらけの大地で、人はなにかを見つけた～

市役所に入庁したばかりの若者がいた。『あの日』若者はデスクに向かっていた。

東日本大震災、窓の外の光景に若者は絶句する。

海沿いの避難所の世話係になった若者は、避難民とともに生活するようになるが、非力さに苦悩する。

だが若者は気づく。目にうつる、人々の愛おしいつながり。

震災をきっかけに、老人たちと子どもたちが親密に暮らしている。

彼らがわかちあうのは、この土地に根付いた文化、芸能。そこには前に進もうとする人達がいる。

やがて避難所に仮設風呂ができ、若者は黙々と薪割りをつづけた。

食事は白いオニギリだけ。頬張ると、若者の頬を涙がつついた。

すべてに感謝の念がわいた。

そして若者は驚く。

『あの日』を経験する前からあったはずの空、そして憎いはずの海的美しさに…。

極限状態のなか、若者の命はかがやき、やがて被災地の太陽となる。

